

大口投資家の動きが株価を動かしている？

日経平均・TOPIXの年間平均傾向を調べると、値動きに一定の傾向があることがわかる。株価に大きな影響を与えているのが、東証売買代金ベースで60%以上を占める外資系ファンドや機関投資家。さらに、行動ファイナンス理論に基づいて株式市場を分析すると、月ごと・週ごと・曜日ごと・時間ごとに傾向が見えてくる。相場を動かす巨大な力があることを知らずに、個人投資家が株式投資に参戦するのは、地図を持たずに荒波を旅するように危険なこと。時系列の傾向をしっかりとらえて、投資効率を高めよう！

大岩川源太謹製「投資カレンダー2009」

著者インタビュー

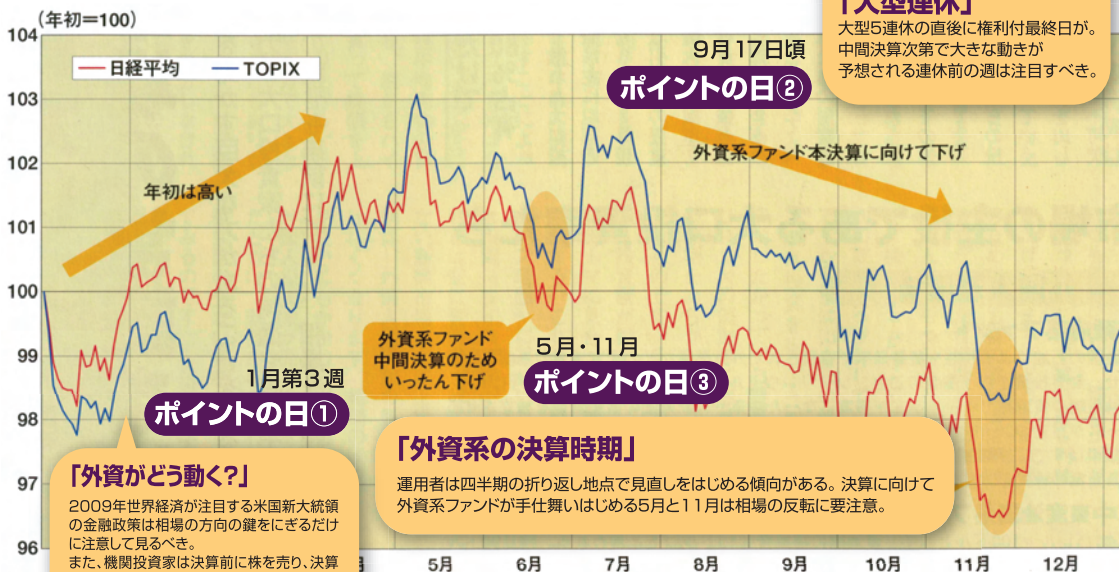
大岩川式

「2009年注意すべき時期は11月！」

大岩川源太氏に伺いました。

Q. 2009年、注目すべき時期はいつですか？

日経平均・TOPIXの年間平均推移



曜日ごとの相場傾向 月、金は惰性の相場 勝負は火曜日の後場から

	月	火	水	木	金
前場の傾向	先週の地合いと週末のNYの影響が顕著に出る。新しい動きは出にくい。週末の情報次第で動きが偏りやすく、前の週に持っていたものを売ったり、前の週持ってなくても突っ込んだら買う程度	月曜日に買ったものの処分が出やすい	火曜日後場に動いた株に近い銘柄が動く。同じテーマや同じ業種、同じ価格帯などをチェックしよう	火・水曜日に流れた風説に注意。火・水曜日に出了方向性が一巡	翌週への期待感で動く惰性の相場になりやすい。ギャップ感覚のため個人の裁量で売買を
後場の傾向		月曜日のNYの数字を受け、その週の相場のクセが具体的にに出やすい	翌週の月曜日の相場を想定して動く。翌週の特徴が出やすい。ここが高いと翌週に期待が持てる		

豆知識

行動ファイナンス理論とは？

人間の心理と経済的な意思決定の関係を研究している学問。従来の仮説に反して「人は常に利益を最優先して行動するとは限らない」とされ、ときとして非合理的な投資家の行動が研究されている。2002年ノーベル経済学賞によって一躍注目された。

株式・FX・日経平均先物の必勝バイブル
大岩川源太謹製
投資カレンダー 2009

大岩川源太 徳間書店
B4判 2,100円(税込)
【商品番号】10683



Q. 投資カレンダーの開発秘話を教えてください

ディーラー時代、一年間の相場を通じてプロの売買の癖を自分なりにまとめていたんです。投資の洞察力を得るために学びたい「行動ファイナンス理論」の本は数多くありますが、これが難しい(笑)
A. そこで、個人投資家の視点で書き直したのが、投資カレンダーの前身です。「一年間の地図」として個人投資家に活用していただきたいですね。



大岩川 源太氏

「源太塾」主宰。国内証券会社にて個人営業、株式ディーラー、事業法人・融法人営業等の経験から機関投資家の考え方や注文の出し方を会得し、相場の流れをズバリ読む独自の市場分析法を確立。ライブドアショック、08年9月のリーマンブラザーズ破綻後の大暴落を的中したことも記憶に新しい。